

守 破 離

茶道裏千家淡交会 富山青年部



Facebook

山本部長挨拶

日頃から青年部活動にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。皆様からの温かいご支援のおかげをもちまして、令和3年からの2年間、部長の任を務めることができました。この場をお借りして、心からお礼申し上げます。

そして、令和5年からの2年間、引き続き部長を務めさせていただくこととなりました。富山青年部は、令和6年に創立60周年を迎えますが、このような節目の年に、部長という大役を担うこととなり、改めて身の引き締まる思いです。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



さて、令和4年度もコロナ禍の中での活動となりました。1年間の活動を振り返ってみますと、2月の初茶会は中止となり、定期総会もオンラインでの開催となりました。5月は作陶体験を行い、6月はサンフォルテフェスティバルに参加して、一般来場者の方を対象とした茶道体験を実施することができました。しかし、第7波の影響で9月に予定していたチャリティ茶会は断念することになりました。代わりに、会員の交流の場を確保するため、10月に作陶体験の第二弾を開催しました。そして、12月に卒業茶会を開催しました。令和4年度は4名の会員が惜しまれつつ卒業されました。

その一方で、新入会員はなく、富山青年部の会員数は減少の一途を辿っており、会員を増やすことが喫緊の課題となっております。活動に参加できる会員が段々と限られてきており、大規模なイベントを開催することが難しくなってきました。

会員数を増やすためにも、青年部活動の在り方をあらためて見つめ直す必要があると思います。仕事や私生活などで忙しい日々を過ごす中、貴重な時間を捻出して青年部活動に参加する価値とは、どのようなもののでしょうか。「茶禅一味」や「茶即禅」といわれるように、お茶とは全人的な自己陶冶です。青年部活動は、そのための自己修練のためのひとつの場であると思います。様々なアイデアを実践し、実体験として学ぶことができるのが青年部活動における大切な価値だと思います。

令和4年度は、会員自身が積極的に青年部活動に参加し、新しい知識や経験を得る大切な機会にしてほしいという想いから、「事上磨錬～感謝と思いやりの心で共に力を合わせて～」をテーマとして活動してまいりました。事上磨錬とは、創意工夫により実際に行動することで、様々な知識や経験を得て自らを磨く機会とするという意味です。

来期からも引き続き、茶道の基本をしっかりと学びながら、青年部で活動する今だからこそできる、意外なアイデアや楽しい設えを活動の中に取り入れてまいります。そして、お茶を経験されたことのない方にも広く青年部の活動を知っていただけるような機会を作っていきたいと考えております。

ところで、青年部活動に参加していると色々なことに気付かされることがあります。先日、久しぶりに県外での会議に参加した際に、衝撃的な出来事に遭遇しました。茶道裏千家淡交会青年部北陸信越ブロック協議会に出席するため、11月に長野県千曲市を訪れた時のことです。会議が終わり、会場からあんず街道を車で千曲駅方向に進んでいました。すると、対向車線のほぼすべての車が、歩行者がいなくてもかわらず、信号のない横断歩道で一時停止していました。一瞬、標識を見落としたのかと思い、慌てて周囲を見渡しましたが見当たりません。それなのに、その後続く車も一時停止

しているものですから、もしかしたら、これが長野県では当たり前のことなのではないか、と思ったのです。少なくとも私はこれまでに見たことのない光景でしたので、本当に衝撃的でした。

会議の前にもこんな出来事がありました。会場の向かい側には、あんず街道を挟んで公園があります。幼い姉妹が手をつないで、会場側から公園に向かって信号のない横断歩道を渡ろうとしていました。年の頃は、5歳と3歳くらいだったと思います。車の通りが少なかったとはいえ、心配になりましたが、通りかかった車は横断歩道の手前ですでに一時停止していました。すると、幼い姉妹は手を挙げて車の前まで来ると、運転手の方に向かってお辞儀をして、横断歩道を渡っていったのです。まだ幼いののに、なんと礼儀正しいことでしょうか。

こんなに幼いうちから、停車してくれた運転手に感謝の気持ちを伝えることができるのは凄いことですし、お辞儀された運転手も、それだけで一日を幸せな気持ちで過ごすことができるに違いありません。長野県では、車を運転される方は、普段から歩行者のことを考えて、できることを実践しているのでしょう。長野県民の優しさと心のゆとりを垣間見たような気がしました。

帰宅後、この話を裏付ける調査結果がJAFから発表されているのを見つけました。「2022年 信号機のない横断歩道における車の一時停止率」は、長野県が82.9%で全国1位となっています。2位の兵庫県で64.7%ですから、長野県はダントツの1位です。しかも、調査を開始した2016年から長野県は7年連続の1位だということです。ちなみに、富山県は37.0%です。

この出来事があって、ふと昔読んだ本にこんな句があったのを思い出しました。

「あれを見よ 深山の桜咲きにけり 真心尽くせ人知らずとも」

深い山奥で人目につくこともなく咲き、散っていく桜。誰の目に触れることはなくとも、精一杯の美しい花を咲かせていることを詠ったものです。これは、故・松原 泰道老師が学生時代に箱根を旅した時に偶然見つけた歌碑に著されていた言葉で、その後の老師の生き方に大きな影響を与えたといわれています。長野県での出来事は、運転手と歩行者がいつもお互いを思いやっている、そんな真心を感じることができた瞬間でした。

今、私たちはコロナ禍の3年間を過ごしてまいりましたが、ここに来てさらにウクライナの問題等が起こり、国際情勢は物資や流通などの様々な面において不安定な状況となっています。こうしたいくつもの困難が私たちの生活にも大きな影響を与えていますが、先行きの見えない不安にばかり目を向けてしまうと、気持ちにゆとりがなくなり、感謝と思いやりの心を見失いかねません。長野県の幼い姉妹のように、お辞儀をするだけであんなにも気持ちが伝わるのですから、厳しい時代であっても、真心をもってお互いを思いやることができるように私も精進してまいりたいと思います。

富山青年部部長 山本 哲弘

2022年度活動報告

2月27日：令和4年度定期総会

今回の定期総会も新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、オンライン(ZOOM)での開催となりました。感染状況が悪化すると会員同士の交流も希薄になりがちですが、ここ数年でオンライン行事が浸透した為、滞りなく全議案の承認を頂きました。総会後は各自用意したお茶とお菓子でオンライン呈茶を行いました。



5月8日：作陶体験

越中瀬戸焼千寿窯にて吉野香岳先生のご指導の元、作陶体験を開催致しました。

茶碗、皿、水指など、各々作成したいと思う道具に合わせた指導をして頂きながら手捻りでの作陶を学ばせて頂きました。今回、初めて作陶する参加者も楽しく粘土を成形できたと思います。釉薬選びには皆迷っていたようですが、焼き上がった作品はどれもキレイに仕上がりました。それぞれ、作り手の個性が反映された様に思います。

また、今回の作品は今年度の卒業茶会で使用することができました。



6月25日：サソフォルテフェスティバル

一服委員会主導の元、富山県民共生センターにてサソフォルテフェスティバルに参加し、ワークショップ「茶道体験」を開催しました。普段茶道に触れる機会の少ない方々にも茶道に触れて頂く貴重な機会である催しを開催できて大変喜ばしく思います。

新型コロナウイルス感染症の感染対策には細心の注意を払いました。体験で使用して頂く道具の消毒、ソーシャルディスタンス確保、スタッフのマスク着用徹底、受付でのお客様への検温・消毒のお願いなど、安全確保に努めました。



9月3日（中止）：第32回チャリティ茶会

第32回とやまチャリティ茶会、「わ」茶会を9月3日に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い大変残念ながら中止致しました。

今年のテーマは、「わ」でした。開催こそできませんでしたが今後も茶道を通じて、「和」、「輪」、「話」など、色々な「わ」の良さを感じてもらえるような青年部らしい発信力のある茶会をめざしていきます。



10月23日：作陶体験（その2）

『また作陶したい！』という要望から、越中瀬戸焼千寿窯にて吉野香岳先生のご指導のもと、第二回目の作陶体験を開催致しました。前回同様、各々作成したいと思う道具に合わせた指導をして頂きながら手捻りでの作陶を学ばせて頂きました。

二回目ともなるとある程度要領はわかった上で制作に当たれるので落ち着いて粘土を成形できた参加者もいれば、前回とはまた違った成形工程に少々悩みながら手を動かしていた参加者もちらほら見受けられた様に思います。

焼き上がりの都合上、初使用は翌年（令和5年）へ持ち越される事となりますが、今回もキレイに完成し、次の茶会への楽しみが増しました。



12月11日：卒業茶会

円山庵にて卒業茶会を開催いたしました。今回青年部を卒業されるのは布瀬さん、岡野さん、吉野さん、村井さんの4名となります。炭点前を行い、カフェテラスマリーマリーの弁当に加えて会員による煮物椀を美味しく頂いた後、各服点にて濃茶ならびに続き薄茶を行いました。未だ新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、卒業茶会を行えて良かったと思います。卒業生の方々にはいつも様々な行事でご協力頂きました。本当にありがとうございました。



卒業生より

布瀬 志都世さん

二十数年在籍させて頂いた青年部を卒業することとなりました。仕事もあり思うように参加出来ないことも多くありましたが本当に充実した素晴らしい時間でした。

青年部に在籍していなければ経験することの出来ない貴重な経験をたくさんさせて頂きました。宗家訪問にて兜門をくぐらせて頂いたときの感動は今でも忘れることが出来ません。毎年恒例のチャリティ茶会、会員同士の茶事稽古や大寄せ茶会の企画、他青年部のドイツ奉仕隊に参加しドイツの各都市でお茶会もしてきました。書ききれないほどの楽しく充実した時間を過ごさせて頂きました。

また何より素晴らしい先輩方や仲間にも恵まれたことは何にも代えがたい私の財産となりました。今日までご指導ご支援を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。これからは青年部で培った好奇心とバイタリティーを忘れず、第二のお茶人生を楽しみたいと思っております。富山青年部の益々の発展を、そして皆さんが充実した素晴らしい時間を過ごされることを心より願っております。長い間、本当にありがとうございました。



岡野 恵理子さん

入会前に何回か青年部主催のお茶会に行ったことがあり、楽しそうだなと思っていたところ、友人に誘われ入会したのが2018年。あっという間の4年間でした。

行事にはあまり参加出来ませんでしたが、参加できた行事のことはひとつひとつよく覚えています。落楽茶会、サンフォルテフェスティバル、チャリティ茶会や歓迎茶会、卒業茶会等・・・、皆さんから伝わってくる思いやりやおもてなしの心も。

私はたいしてお役にたてませんでしたが、これらの経験は、私にとっては新鮮で学ぶことの多い貴重なものでした。

本当に短い間でしたが、皆さんには大変お世話になり、ありがとうございました。

富山青年部のますますのご盛会をお祈りしております。



吉野 裕美さん

20代前半に入会し長く在籍していた青年部も卒業を迎えることになりました。

振り返ってみますと、青年部では普段のお稽古には無い、茶道に関連する色々な事を楽しみました。

青年部で出会った友人や先輩にお世話になったことを思い出されます。茶道を通じた仲間の存在を感じられたようにも思います。また、様々な行事に参加しました。全国大会や周年行事、星空茶会など。多くの学びある経験をさせていただいたことに感謝しております。

青年部がこれからも実りのある交流の場である事を願っております。有難うございました。



村井 大輔さん

今までありがとうございました。

富山青年部の活動には、あまり参加できず、ご迷惑をおかけしました。一度、お茶会の裏方の仕事を手伝わせていただいた際、裏方の仕事の大変さと、それも含めたおもてなしの心を学ばせていただきました。

入会当初の新会員歓迎茶会を開いていただき、何もわからない私に、一つ一つ丁寧に教えて下さり感謝しております。

これからも、お茶のお稽古は続けていきます。(なかなか成長はしませんが…。)
また、皆様とお会いする機会があれば、嬉しいです。
最後になりましたが、富山青年部のこれからのご活躍をお祈り申し上げます。



一服委員会より（明野委員長）

6月25日にサンフォルテフェスティバルに参加しました。

今年度もコロナ禍の影響は続いており、お茶の出し方や片付け方、座席配置などに対策を工夫しての開催となりました。コロナ以前よりはお客様も少なかったようですが、お茶に興味を持って初めて訪れてくださる方も多くいらっしゃいました。

ゆっくりと一服していただくことができ、少しでもお茶に触れる機会となり嬉しく思います。お茶に縁のなかった方などに間口を広くして楽しんでいただける機会となれば幸いです。

参加にあたりご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。

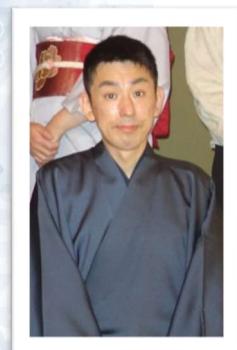


若草委員会より（森田委員長）

令和3年より引き続き富山青年部若草委員会の委員長を務めさせていただきました森田です。

令和4年は、若草委員会にてチャリティ茶会を担わせていただくこととなっております。テーマにつきましては、ロシアのウクライナへの軍事侵攻などの「不安」な状況が続いていることから、平「和」への願いや、一椀を通じて笑顔の「輪」が広がりや心のつながりを感じてもらえたらと考えて、テーマを「わ」とさせていただきました。そのテーマに沿うような形で、9月3日のチャリティ茶会の開催に向けて準備を進めていました。残念ながら、開催直前に発生した新型コロナウイルスの影響により、開催は中止となってしまいましたが、開催に向けた準備等に携わらせていただき貴重な経験をさせていただいたと考えております。

終わりになりますが、若草委員の皆さんや役員の皆さん方には、会場の下見、道具組、チケット準備等、多大なるアドバイスやご協力をいただくなど、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



広報委員会より（堀井委員長）

去年に引き続き今年も皆様のご協力により、守破離を発行することができました。ありがとうございます。

無事行えた行事もあり、急遽断念した行事もありと、刻々と変化する新型コロナウイルスの感染状況に振り回されていたように思います。また、青年部会員的大幅な減少も重なり、より一層の工夫と新規会員の獲得が必要となってきました。今しばらくこの状況は続くかと思われませんが、その中から得られる貴重な体験やノウハウはもう少し先の青年部を大いに助けてくれるはずです。

短いですが、以上をもって編集後記とさせていただきます。ありがとうございました。



令和5年1月発行



茶道裏千家淡交会 富山青年部

～富山青年部では随時会員を募集しております！！～

青年部活動に賛同していただける方なら、どなたでもご入会できます。

年会費 1, 000円（26歳未満）

3, 000円（26歳以上、50歳未満）

申し込み先 富山青年部公式 Gmail tankoukaitoyamaseinenbu@gmail.com

活動については、Facebookの配信も行っておりますので、ぜひ御覧ください！



Facebook